

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		私道等整備助成事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり	所属部	都市建設部	課長名	上原哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実	所属課	建設課	担当者名	辻 健一
	基本事業	13	計画的な道路の整備	所属班	管理計画班	(内線)	2272
				法令根拠	合志市私道等整備補助金交付規則		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	12
	1	8	2	3	10057			コスト削減優先度評価結果	6

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
一般の交通に供する市道以外の道路について補助金の交付を以て住民の生活環境の改善を図る。

**【業務の流れ】**  
(対象確認申請)→交付対象確認→(交付申請)→交付額の決定→(工事)→確認検査→交付額の通知→(請求)→支払い→領収書の添付

**【主な予算費目】**  
法定外道路及び公有地=9/10、私道=2/3の補助率で250千円を限度額とする。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 申請件数 5件 補助金交付決定件数 5件	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 予算学内での繰り越し件数の執行と新たな信施件数の効率化
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 沿道住民が行なう、法定外道路・公有地・私道の整備	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 対象となった件数 件 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 砂利道の舗装・排水路の整備により粉塵・雨水被害の解消	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 箇所数 箇所 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 土地利用に合った道路網が整備される	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 実施件数/申請件数×100 % → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 整備済延長/計画延長×100 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	4,539	9,568	9,000	6,350	9,000	9,000	9,000	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	人	2	2	2	5	5	5	5	
	正規職員従事人数	人	2	2	2	5	5	5	5	
延べ業務時間	時間	100	100	100	330	330	330	330		
(B)人件費計	千円	397	398	398	1,313	1,313	1,313	1,313		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,936	9,966	9,398	7,663	10,313	10,313	10,313		
活動指標	ア イ	件	9	9	8	5	5	5	5	
対象指標	ア イ	箇所	7	8	8	5	5	5	5	
成果指標	ア イ	%	88.8	88.8	100	100	100	100	100	
上位成果指標	ア イ	%	15	23	45	28.9	70	100	100	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
合併前の旧西合志町で、昭和55年度から町道以外の整備は行なっておらず、里道・町有地・私道の整備要望が多く、住民の住環境を整えるために補助金交付制度を導入し、合併後も継続事業として引き継いでいる。住民の一部負担により効率化が図られている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
年々申請件数が増加し、以前に整備された道路も20年を経過する箇所も存在し、補修が必要な箇所も発生しているが、補助金の再申請が適用できないことから、制度の見直しを検討する時期に来ている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
市道管理として整備できない箇所を補助金制度の活用により整備が行える。

事務事業名	私道等整備助成事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ <b>末端の道路環境整備には、欠かせない制度であり、事業継続は必要である。</b>
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ <b>本来は、法定外道路及び公有地は市の所有管理であり、住民の要望に対しては、市が行なうべきではあるが、公平性を欠かないよう受益者の一部負担により、愛着のある道路環境が整える。</b>
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ <b>市道以外の生活道路の環境整備には欠かせない制度であり対象・意図・目的に添っている。</b>
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ <b>申請者の工事見積りについては、標準単価により精査し、適正額よりも低く交付額を決定しており、向上余地が無い。</b>
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ <b>①道路環境整備の停滞 ②法定外道路及び公有地整備要望箇所の直営による工事費の増大</b>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ <b>類似した事業が無い。</b>  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>申請者に対する交付額(交付率)の引下げによる交付件数の拡大</b>
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ <b>申請受付から精査設計書の作成、支払いまで考えると削減余地は無い。</b>
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ <b>公平性を欠かさぬよう受益者の一部負担により執行している。</b>

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	➔
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

再申請の禁止が規則で決まっていることから経年による舗装劣化等の対処ができないため、現時点では自己負担としている。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )